

情報を主体的に活用

情報教育の充実

ICTを活用して
論理的に思考し
新しい価値を
創造する力を養う

「見方・考え方を深める」情報メソッド

ICTは学校教育に何をもたらすか！

感性を豊かに働かせながら、
豊かな未来を創造していく

個別最適化された学び、
協働的・探求的な学びの実現



学校HP
QRコード

教育の情報化

教育の情報化が目指す
3つの側面

- 学習指導の情報化
- 特別支援教育の情報化
- 授業以外の情報化

- 授業でのICT活用
- 情報活用力の育成
- プログラミング教育
- 個のニーズに応じた支援
- 授業準備の情報化
- 校務の情報化
- 学校の情報公開

情報活用の実践力

情報機器の操作
情報の収集・整理・発信

情報の科学的な理解

教育手段の特性や仕組み
理論や方法の理解

情報社会に参画する

教育モラルと責任
情報技術の役割や影響

情報活用力は、言語力と同様に、「学習の基盤となる資質・能力」である。

新学習指導要領
改訂のポイント

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のために

ICTが授業を変える！ 新しい学びのスタイルを形成

授業でのICT活用

情報活用力の育成

「確かな学力を向上させる授業」

- ① 発問や説明の言葉の吟味 子供に伝わりやすい言葉、教師の意図が明確な言葉の工夫
- ② 構造的な板書の工夫 学習課題やまとめを明確にした学習経過や思考の流れの整理
- ③ 授業展開の改善 授業テンポ、説明・思考・習熟のバランス、効果的な場面で活用
- ④ ノート指導の徹底 板書の工夫と合わせた授業改善によるノート指導の工夫・改善

各教科等の「見方・考え方を深めるツール」として

F・G・S・t 構想

F ふじみ
Fujimigaoka
Elementary
School

S スマート
Smart City
Smart Learning

G GIGA
スクール
Global and
Innovation
Gateway for All

t ツール 構想
tool vision

- 1 Society5.0 という新たな時代を担う人材の育成
- 2 多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された教育の実現
- 3 子供たち一人一人の資質・能力を確実に育み、AIに代替えされない創造性を育成

「一斉指導による学び」「一人一人の個に応じた学び」「教え合い学び合う協働的な学び」などを推進し、子供たちが主体的に学習する「新たな学び」を創造する。

【Smart tool の使い方】

先生は、
“賢い教具”として、
指導に活用します。
子供たちは、
“賢い文房具”として、
学習に役立てます。

Smartとは、スマートシティのイメージですが、直訳すると、「賢い」「機敏」「小気味よい」「小粋」などなどの意味があります。



toolとは、「道具」という意味です。ICT 機器は、魔法の箱ではありません。何かを成し遂げるために使う便利な「道具」です。